

## 厚生文教常任委員会 政策提言

### 歯と口腔の健康づくりを推進し健康寿命延伸を目指す

#### 趣旨

歯と口の健康は、心身の健康と深い関わりがあり、食事や会話を楽しむなど生活の質にも大きく影響し、健康寿命の延伸を目指す上で重要な要素となっている。

生涯にわたり、自分の歯に関心を持ち、自分で管理する習慣を身に付けることが大切である。

大分県の12歳児1人当たりのむし歯本数は、平成27年度調査で全国ワースト2位であり、豊後大野市は大分県内の市町村別で県下ワースト1位となっている。近年はその傾向が続いており、早急な対策が必要である。

厚生文教常任委員会では、口腔保健についての所管事務調査に加え、先進地自治体において研修を行い、豊後大野市歯科保健プロジェクトに掲げている「豊後大野市の口腔を日本一にしよう」と、ぶんごおおの健康づくり10か条の第9条「年1回は歯の健診を受けよう」を実現するため、そして、市民の健康寿命延伸のためには歯と口腔の健康づくりの更なる推進が必要であると考え、以下のとおり提言する。

#### 提言

- 1 出生前期から高齢期までのそれぞれの時期における歯と口腔の健康づくりを推進すること。
  - (1) 幼児期及び学齢期におけるむし歯予防策等については、歯みがき指導等に加え、早急に全ての小学校及び中学校でフッ化物洗口を実施すること。
  - (2) 成人期以降における歯科疾患の予防に向けた取組を行うとともに、定期的な歯科健診受診率の向上策を講ずること。
  - (3) 高齢期における口腔機能の維持及び向上策等を講ずること。
- 2 歯と口腔の健康づくりに関する情報提供や普及啓発を積極的に行うこと。
- 3 歯と口腔の健康づくりの観点からの食育を推進すること。
- 4 歯と口腔の健康づくりの推進に当たっては、保健、医療、福祉、教育等の関連部署との連携を図ること。
- 5 歯と口腔の健康づくりに関する施策を推進するため、必要な財政の措置を講ずること。